

真庭市の概要



真庭市は、平成17年3月31日、9つの町村（5町4村）が合併して誕生。
岡山県北部・中国山地のほぼ中央に位置。
北は鳥取県に接し、東西約30km。南北に約50km。
高速道路のインターチェンジは5箇所。
総面積は約828km²。（※面積の約8割が森林）

人口 46,599人 世帯数 17,841世帯（H29.10.1現在）
木質バイオマスを活用した新産業の創出をはじめ、環境に優しい循環型社会の形成を目指す「バイオマス産業社市」の実現に向け取り組んでいる。
森林資源をはじめ、蒜山高原、湯原温泉などの観光地にも恵まれ、古くから山陽・山陰の中継地として、出雲街道、大山みちの宿場として栄えた久世、城下町の風情が残る勝山の町並みとともに、歴史文化、伝統工芸なども多く残っている。






国立公園 蒜山 湯原温泉 砂湯 勝山町並み保存地区 旧遷高尋常小学校

自転車のまちづくりの経緯

環境に優しい循環型社会の形成を目指す真庭市では、自然や観光地など豊かな地域資源を活用し、「観光、健康、環境」における地域活性化をはかるためのツールとして自転車に注目。

- 平成26年度 地域資源の活用と地域活性化をはかることを目的とし、自転車のまちづくりをスタート
- 平成26年2月 株式会社シマノのコンセプトショップ「OVE」での観光PRイベント開催
⇒OVEが提唱する「散走」を取り入れ観光振興をはかる
⇒同社の協力を得ながら自転車のまちづくりを進める
- 平成26年6月、11月 株式会社シマノの協力のもと「散走フォーラム & 散走体験会」を実施
- 平成27年2月 自転車を活用したまちづくりにかかる意見交換の場として「真庭・自転車の楽しみ方プラン会議」立ち上げ

『散走』とは…『何かを見たり、食べに行ったり、探したりすることを、自転車で行うアクティビティ、ライフスタイル』のこと。

散走の魅力…市民が地域を再発見するきっかけとなる
・観光客の滞在時間の延長、消費額の増加が期待できる

散走フォーラム&散走体験会

- 市内の自転車事業者、自転車愛好家、健康づくり実行委員会、岡山県サイクリング協会などをリストアップし個別に声掛けを行い参加者を募集。
- 初回はワークショップ形式で散走プログラムを企画し、翌日にそのコースを実走。2回目は市内のキーパーソンが散走リーダーとして企画したコースを参加者と実走し振り返りのワークショップを行った。





真庭・自転車の楽しみ方プラン会議

メンバー…真庭市民、民間事業者、市内観光団体、株式会社シマノ、行政、市外在住の方 etc
実施内容…真庭での散走企画についての検討、試走会
・蒜山高原自転車道の点検・修繕に向けた実走 等（平成27年6月実施）





自転車のまちづくりに向けて ～散走以外の取り組み～

1) 自転車を活用した健康づくり推進事業




2) タンデム自転車

障がい者と健常者が共に楽しむサイクリング




3) サイクリングマップ作成による地域活性化



4) サイクリングロードのターミナル施設

『木テラス』整備



真庭で散走サイクリング企画・実施

真庭の観光振興を目的とした協議会「観光回廊真庭誘客協議会」の事業として、地元民間事業者、真庭市民(移住者)などと協力し4つのコースを企画・実施。

目的… ・散走の取り組みを観光地域づくりにつなげること
・行政主導の取り組みでなく、民間が主体性をもって取り組んでいける仕組みづくりを模索すること

① 桜×スイーツ散走 行程表

中国勝山駅 10:00	堤防沿いの桜 10:20	商店街の八百屋 10:40	旧遷高尋常小学校 11:00
真庭あぐりガーデン 12:00	久世トンネル桜 13:30	勝山町並み保存地区 14:10	川べりのカフェ 14:40

② 発酵蔵散走 行程表

中国勝山駅 10:00	スマダ商店 10:40	河野酔味噌製造工場 11:10	旧遷高尋常小学校 12:00
久世の町並み 13:20	木テラス 14:00	御前酒蔵元社本店 14:00	カフェにしくら 14:50

③ チーズ×ワイナリー散走 行程表

レストラン白樺の丘 10:00	Oliva Sicula 10:40	福田神社 10:40	田園風景の道 11:00
蒜山ラッパパンピー 11:20	ひるぜんジャーニャーランド 12:00	イル・リコッターロ 14:00	ひるぜんワイナリー 14:40

④ 外国人が案内する日本の田舎散走 行程表

真庭市北原振興局 15:00	芋岡観音堂 15:30	岩中山佛徳寺 15:50	金刀比羅神社 16:20
定古墳 16:20	塩川の泉 16:40	高岡神社 17:30	シェアハウス照ラス 17:45